

調査意見書

受理番号 107-112		学校 高等学校		教科 商業	種目 ビジネス・マネジメント	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	表見返 ①	囲み	「住宅宿泊ビジネス」の2行目「利用」のルビの「ていきょう」	誤記である。	3-(2)	
2	4	囲み	「重要用語一問一答」の図の「全商検定」3箇所	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習の目的について誤解するおそれ)	3-(3)	
3	6	8	決することにあるのです。	誤植である。 (行頭の位置)	3-(2)	
4	9	囲み	「1章」の「新しいビジネスを企画する」の「企画」 以下、12ページの上囲み「新しいビジネスを企画する」の「企画」も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (12ページから49ページに企画に関する記述が無く理解し難い。)	3-(3)	
5	23	33	「調べよう」の「F社」	生徒にとって理解し難い表現である。 (23ページ囲み「事例6」の記述に照らしてF社とする理由が分からない。)	3-(3)	
6	37	28 - 31	特に、アプリやソフトウェアなどの開発においては…その対応を変えることをアジャイル手法という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	
7	42	9 - 10	絵画…キャラクターなどの意匠物 以下、169ページ左段「ライセンスモデル」の2行目から3行目も同様。	生徒にとって理解し難い表現である。 (絵画、キャラクターを意匠物とする理由が分からない。)	3-(3)	
8	65	側注	吹き出し「企業フィロソフィー」	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が無く理解し難い。)	3-(3)	
9	73	23 - 24	右段「解決に繋がらない。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (73ページ左段6行目の問題文は「コンフリクトの解消方法」としており文意が理解し難い。)	3-(3)	
10	79	25 - 26	企業や金融機関などが…金利スワップという。	生徒にとって理解し難い表現である。 (記述が整理されておらず、説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 107-112		学校 高等学校		教科 商業	種目 ビジネス・マネジメント	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	86	18 - 19	昇進の機会がなく、また正規雇用と同等な福利厚生を受けられない	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
12	86	23 - 28	右段「正規雇用の労働者…少なく」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
13	143	側注④	1行目から6行目「資本コストとは…期待している。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (資本コストが記述の内容であるかのように誤解する。)	3-(3)	
14	148	19	「日本財団」のルビの「にほんざいだん」	不正確である。	3-(1)	
15	裏見返 ⑤	囲み	「アートを通して…(H社)」の1行目から7行目「われわれが解決すべき社会課題…近づけるはずである。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
16	裏見返 ⑥	囲み	「公益性の…認証」の左下写真の画面の「アマノフーズ」「ネスレ」「キットカット」「永谷園」	特定の営利企業、商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-113		学校 高等学校		教科 商業	種目 ビジネス・マネジメント	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	口絵②	囲み	下囲みの右下図の「C社の全株式を…買収」	生徒にとって理解し難い表現である。 (株式を買収する文意が理解し難い。)	3-(3)	
2	9	14 - 20	「広告モデル」の全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (8ページ1行目表題「新しいビジネスモデル」に照らして説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	
3	12	5	利益の最大化はビジネスの目的ではなく、また成功でもない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
4	13	1	「創業や経営者の理念と企業の発展」の「創業」	表記が不統一である。 (目次 i の第3節③の表題の「創業者」)	3-(4)	
5	18	側注①	「多国籍企業」の全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
6	20	側注③	ロボットを導入して	生徒にとって理解し難い表現である。 (RPAにおけるロボットについて説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	
7	35	側注③	将来的には金のなる木に育成することが目標となる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのように育成をするのかが分からない。)	3-(3)	
8	37	18 - 19	SWOT分析では、内部環境を強みと弱み、外部環境を機会と脅威に分類する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (内部環境における「強み」「弱み」と外部環境における「機会」「脅威」が何かが分からない。)	3-(3)	
9	37	側注①	売上高や利益の獲得に貢献していない固定資産	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような固定資産なのかが分からない。)	3-(3)	
10	47	側注③	銀行持株会社の設立には金融庁の認可が必要である。	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-113		学校 高等学校		教科 商業	種目 ビジネス・マネジメント	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	53	6 - 7	採用にあたり…雇用契約を締結する。その際…労働条件を文書で明示しなければならない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (雇用契約と労働基準法に基づく労働条件の関係について)	3-(3)	
12	53	8 - 9	労働基準法を下回る労働条件は企業と労働者の間で合意があっても無効となる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (無効のみであるかのように読める。)	3-(3)	
13	57	14 - 15	多くの企業ではそれまでの経営慣行を見直し、成果主義を導入する動きが増えている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (56ページ19行目から57ページ1行目「多くの企業では年功序列を取り入れた賃金制度が定着」とあり「多くの企業」の扱いが分からない。)	3-(3)	
14	66	24	動機付け	表記が不統一である。 (66ページ26行目「動機づけ」)	3-(4)	
15	68	9 - 10	また伝統工芸品のように、生産に要する時間や費用が多くかかる商品	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての伝統工芸品が記述の内容であるかのように読める。)	3-(3)	
16	71	側注①	「見える化」の全体	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (MFCAにおける見える化が記述の内容であるかのように読める。)	3-(3)	
17	76	14 - 15	この資金に関する記録からステークホルダーに公開するまでの一連の手続きを企業会計という。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (企業会計の対象がステークホルダーのみであるかのように読める。)	3-(3)	
18	80	18	利子率	生徒にとって理解し難い表現である。 (80ページ25行目「利率」との使い分けが分からない。)	3-(3)	
19	81	囲み	「事例」の3行目から8行目「たとえば…支援者を募っている。支援金に対するリターン…などもある。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文との関連について説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	
20	84	7	自己資本利益	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-113		学校 高等学校		教科 商業	種目 ビジネス・マネジメント	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
21	84	14 - 15	過去の収益・費用・利益の金額をもとに、将来の業績を予測・分析することを成長性分析という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (84ページ13行目から19行目「成長性分析」に将来の業績を予測・分析する内容が示されておらず理解し難い。)	3-(3)	
22	87	側注①	情報化社社会	誤記である。	3-(2)	
23	88	15	失うことなる。	誤記である。	3-(2)	
24	112	3	「課題1」の文末「記入しなさい。。」の「。。」	誤植である。	3-(2)	
25	115	1	地域産業の振興とソーシャルビジネス	生徒にとって理解し難い表現である。 (115ページ2行目から20行目の記述とソーシャルビジネスとの関係について説明が無く理解し難い。)	3-(3)	
26	口絵⑧	囲み	「コンピュータのリスク・マネジメント」の「対策1」の「重要な情報をもたないようにする。」、「対策4」の「キーボードの破損などのリスクについては対策をしない。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。